

令和5年度

松陰高等学校（通信制）評価 総括

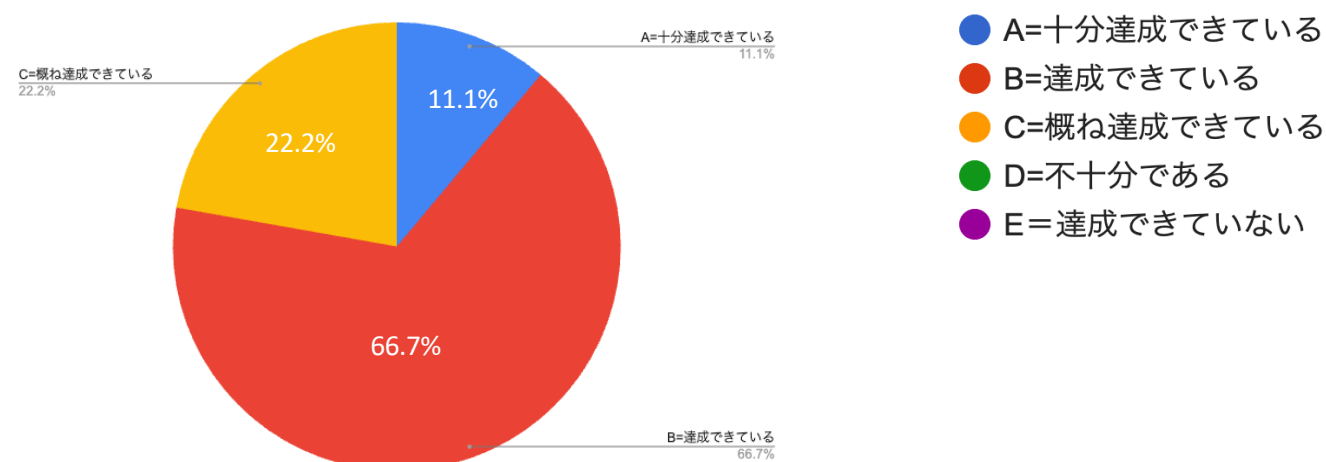
令和6年3月31日

【重点項目】 生徒一人ひとりの継続的な学習の習慣化と学力の向上

【重点目標】

- ・スクーリング・レポート作成・テストへの個別指導の充実と教科内容の理解
- ・学習状況の定期的確認と生徒・保護者への連絡
- ・「学習の手引き」の有効な活用
- ・個別面談の充実と進路実現へのサポート

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 個別で十分な対応ができた。次年度も継続したい。
- 学習進捗表を月末ごとに郵送・配信し、定期的な生徒・保護者への連絡ができている。
今年度は個別面談を原則、履修登録時のみとし、生徒・保護者のニーズに合わせて随時実施していたが、来年度は3年生は進路面談期間を設けることで任意実施を改め、更なるサポートの充実を図るよう計画を立てている。
- 学習状況を常時把握し、適宜個別指導を実施することができた。次年度は、生徒がより計画的に学習を進められるような手立て(年間計画の提示、小まめな連絡等)を行う必要がある。
- 概ね達成できていたが、個々の生徒に対してのスクーリングや個別指導の行い方を、今後とも工夫し充実させていく必要がある。
- 生徒の状況に応じた個別指導やスクーリングをさらに充実させていく必要があると感じており、次年度も指導方法・内容を工夫し充実させていきたい。

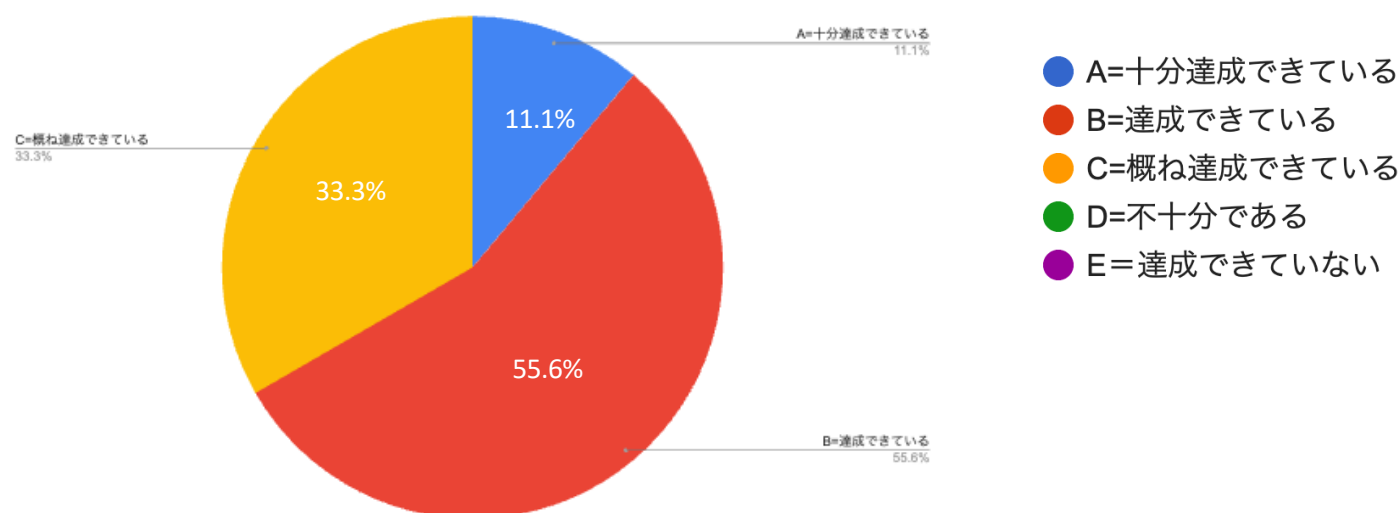
- 適学適職検査を行い、その結果をもとに個別に面談を行うことで職業観の育成を図った。次年度以降も、このような適学適職検査等を活用していきたい。
- 出前授業など進路に関心を持つ機会をさらに増やしていく。

【重点項目】 望ましい職業感の育成

【重点目標】

- ・一人ひとりへのきめ細やかな進路指導の充実
- ・進路ガイダンス・個別面談の質の向上

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 職業体験等、外部のイベントに多々参加させ、生徒の進学就職への関心がアップできた。
- 企業と提携して職業観育成を行う機会があったが、まだまだ個人への進路指導という部分においては、細やかさが足りない部分が見受けられた。次年度は5月に進路ガイダンス・就職ガイダンスを実施し、進学・就職の全体像を案内するとともに、希望的進路の実現に向けて、今、何ができるのか、何をすべきなのか、今後どうすべきかという見通しを立てれるように指導していきたい。
- 随時個別の進路面談を実施していたものの、系統立てた進路指導は行われていなかった。次年度は進学志望の生徒も多いため、年間を通して計画的な進路指導を行う必要がある。
- 相談があればすぐに対応できていた。個別面談でどのように話を進めるのが良いのか研修したい。

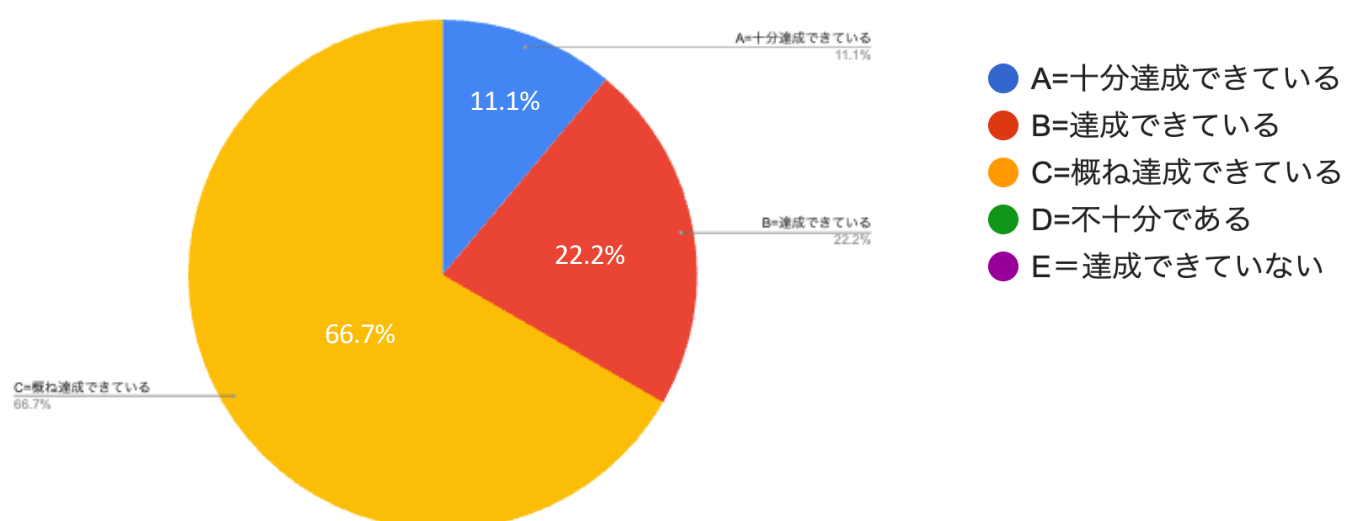
- テスト前に急いでレポートを作成する生徒も何人かいる。登校のタイミングでレポートの進み具合などを聞くようにしたい。
- 登校しづらい生徒への丁寧なケアがさらに必要。

【重点項目】 基本的な生活習慣と規範意識の確立（学校生活の安心と安全）

【重点目標】

- ・ 社会性と公共心の育成、規範意識の高揚
- ・ 教職員の共通理解による生徒指導体制の充実

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 今年度からは更に生徒の個々に応じての対応が可能かと思う。また、生徒指導は進路指導にも大きく繋がるので、重要な職務としていきたい。
- 各種イベントを昨年度よりも充実させたことで、生徒間同志のつながり（帰属意識）が芽生え始めたのではないかと思う。同じ時間と空間を共有することで、自然とコミュニケーションが生まれ、その中で個を個として受け止めること、互いに協力することなどといった社会性は少しずつではあるが、身につけられたのではないかと思う。次年度は、様々な種類のイベントを行うことで、生徒の興味・関心を広げ、また、そのイベントの中において生徒が主体性を発揮できるような仕掛けを作っていきたいと考えている。
- 日々のスクーリングや行事において、場面に応じた指導を行い、生徒の社会性や規範意識の育成を図ることができた。一方で期限などのルールを守る意識が低い生徒等に対しては、教職員全体でコミュニケーションを取りながら、より一貫した指導を行っていく必要がある。

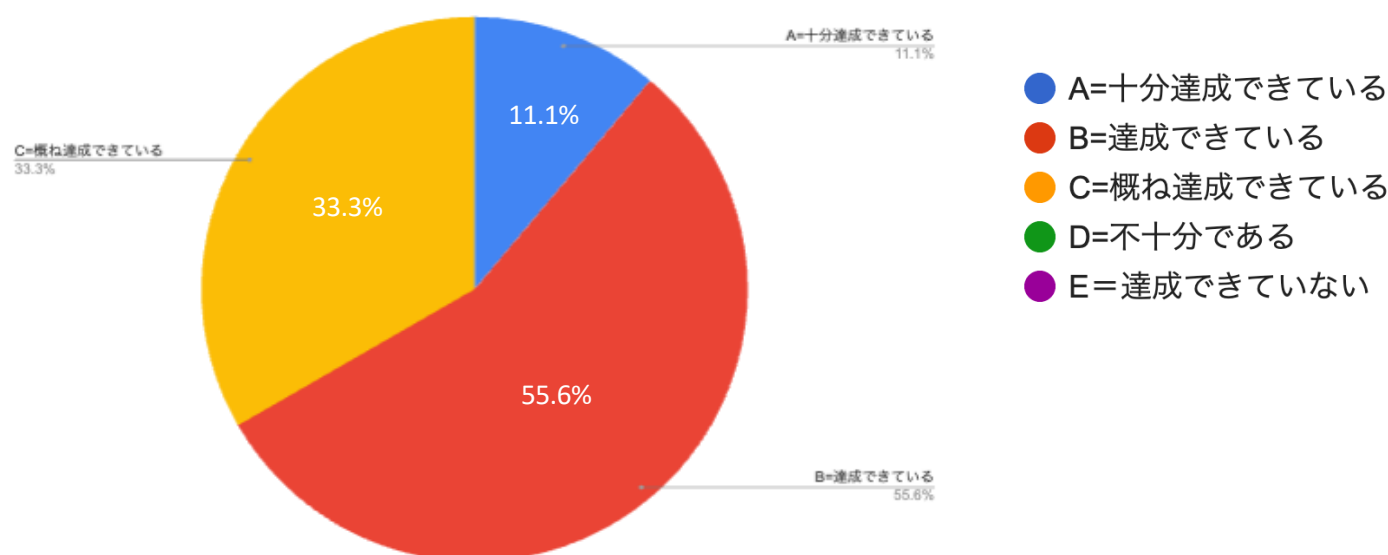
- 校外学習等で公共施設や学外で活動をすることで、社会的なマナーや公共心を育んできた。また、教職員間で情報共有をすることで指導体制の充実を図った。次年度についても継続して活動を通じた社会性、公共心の育成や教職員の生徒指導体制の充実を図っていく。
- 校外学習などで社会性、公共心は学んでいると思う。生徒指導に関する研修の機会をもつ。
- 生徒の様子をよく観察し、適時声掛けをできるように心がけていく。

【重点項目】 健全な心身の育成

【重点目標】

- ・心のケアを通して学校生活を援助する体制作り
- ・教育相談体制の充実
- ・校外学習や宿泊学習を通して心身の充実や道德教育の充実
- ・ボランティア活動を通しての奉仕精神の育成

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 初の宿泊研修（スキー実習）を実施した。その他の校外学習（日帰り）を増やし、参加生徒も増えてきた。更にこのような事案を増やし、その中で生徒との繋がりを深めていきたい。
- 家庭問題や、発達障がいなどで悩む生徒達に対して、教職員が寄り添い、話を聞くことを意識して行った。また必要を感じたケースについては外部機関と連携して、生徒・家庭状況の把握に努め、生徒の健全な心身の育成に努めた。次年度も、カウンセリングマインドを持った指導を行うと共に、様々なイベントを通じて、心身の充実や社会性を養い、自己肯定感を高められるようにしていきたい。

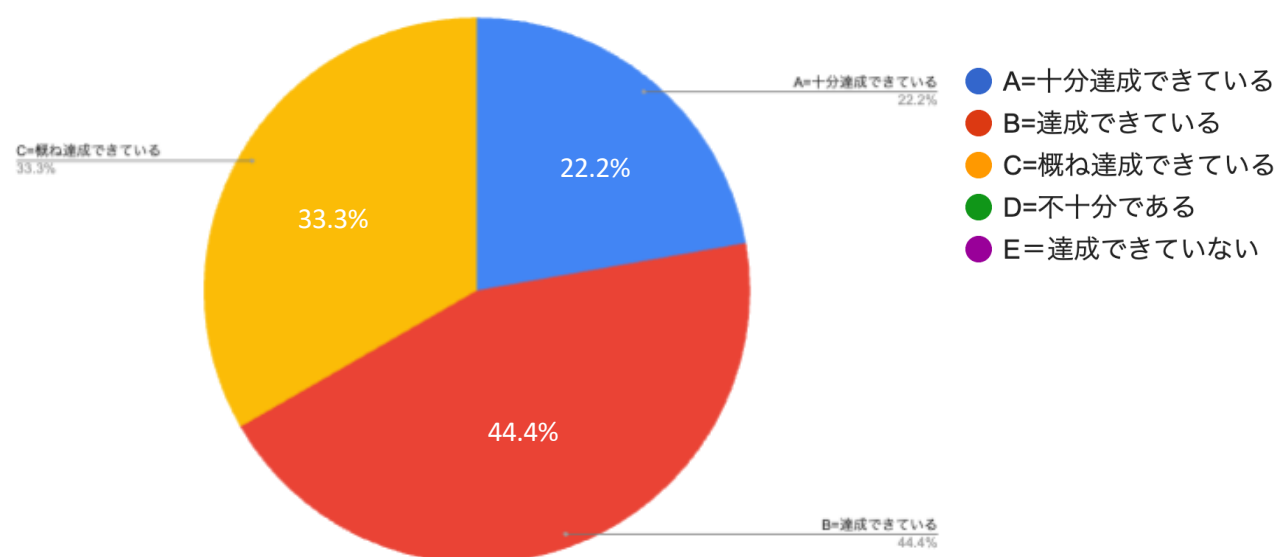
- 生徒とのコミュニケーションを大切にしながら、一人一人の困り感や不安感を解消できるよう、面談や保護者連絡、外部との連携を行った。次年度は支援が必要な生徒も多いため、より充実した教育相談体制を構築する必要があると考える。
- ボランティア活動に参加することが難しかったので次年度の課題である。
- 校外学習やボランティア活動の内容を工夫し充実させ、豊かな学校生活を送ることができるようにしてきた。今後の課題としては、スクールカウンセラーを利用するなどの心のケアの体制の充実を図る必要がある。
- ボランティア活動での奉仕精神はとても育っている。教育相談体制についてはあまり機能していないように感じる。
- 校外学習等、学習を離れた場面で交流を深める機会を充実させていく。

【重点項目】 保護者及び家庭との連携

【重点目標】

- ・ 不登校、転編入生など多様な生徒への指導
- ・ 生徒に関する諸問題の解決を図るための家庭との連携強化

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- メール、ライン、書面での連絡は、かなり密に出来ている。
- 月々の学校通信、LINE配信などで、家庭への基本的な情報共有を行うとともに、心身の理由により、学校に来づらくなっている生徒に対して、教職員で生徒情報を共有し方針を固めた上で、保護者に説明し、家庭でも学校でも、生徒本人が苦しまないように配慮した、適切な対応ができています。

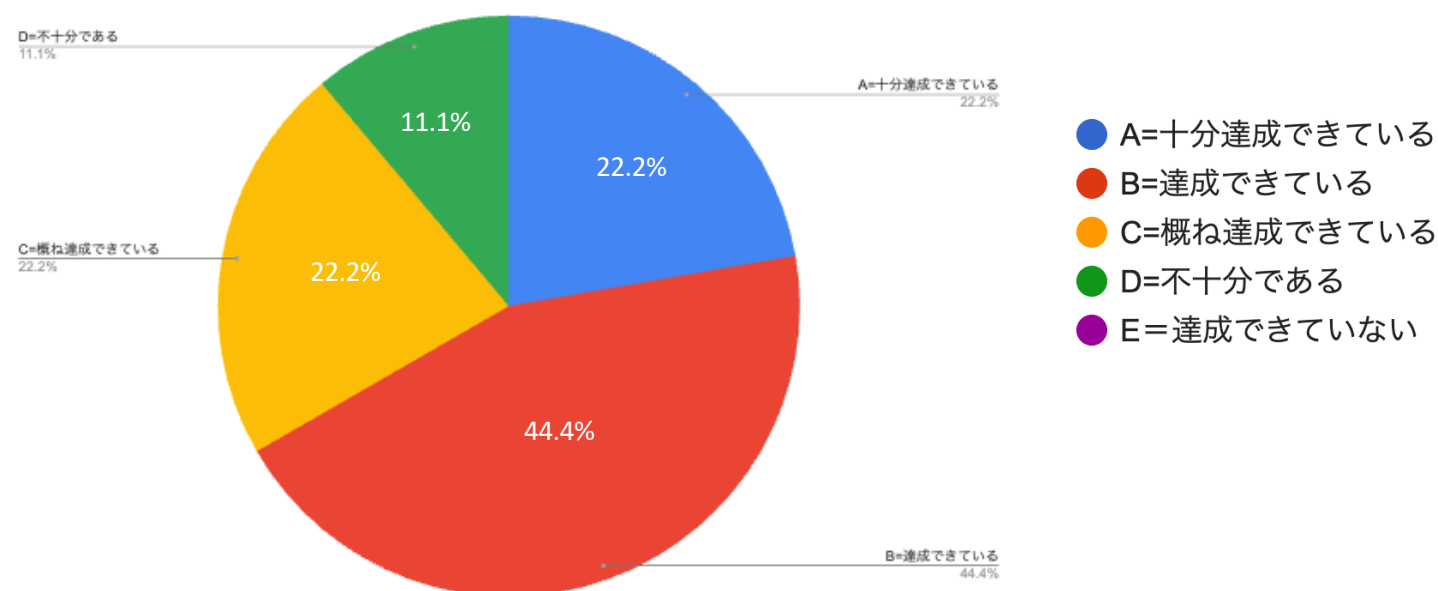
- 学校通信の送付・配信以外にも、学習の進捗状況報告や個別のLINE・電話連絡など、保護者との連携を図りながら学習活動を実施することができていたと感じる。一方、生徒と保護者の間で認識が異なる場面もあったため、双方への連絡を怠らず連携をより強化していく必要がある。
- 年度途中で多くの転編入生が入学しており、それぞれの状況に応じた対応や指導を行ってきた。今後も個々の状況に応じた対応、指導をしていくことが課題である。
- 電話連絡などはタイミングをみて適切に行っていると思う。
- 登校機会が少ない生徒への連絡等を更に充実させる。

【重点項目】 郊外活動への積極的な参加

【重点目標】

- ・ 自然や地域との触れ合いを図るための企画内容の検討
- ・ 特別教育活動への自主的参加奨励
- ・ ボランティア活動への積極的な参加奨励

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 令和4年度よりかなり多くの特別活動は実施できていた。令和6年度も更に多くの特別活動を実施し、生徒に経験を積ませたい。
- 昨年度より、多くの校外学習やイベントを実施し、「参加したら楽しい」という経験と思いをもたらすことができている。またそれが波及して、参加率も大幅に上がってきた。次年度は、さらに多くの多種多様な校外学習やイベントを企画し、単純に「楽しい」だけでなく、「学び」も得られるようなものを実現していきたいと考えている。

- 年間を通して多様な校外活動を企画・実施することができた。活動の周知や参加者の募集に力を入れたこともあり、特別活動の時数に関わらず参加する生徒も数多く見受けられた。今後はボランティア活動や、地域との関わりを深める活動も取り入れられると良い。
- 新型コロナウイルス感染症による自粛等が緩和され、様々な校外学習やボランティア活動を行ってきた。その際に、生徒には声掛けを行い、積極的な参加を促した。
- 校外学習、校外活動の参加率は低いのではと感じている。参加したくなるような活動を検討しなければいけないと思う。
- 活動に参加しやすい雰囲気作り、声掛けを更に進める。

【評価項目】 教務

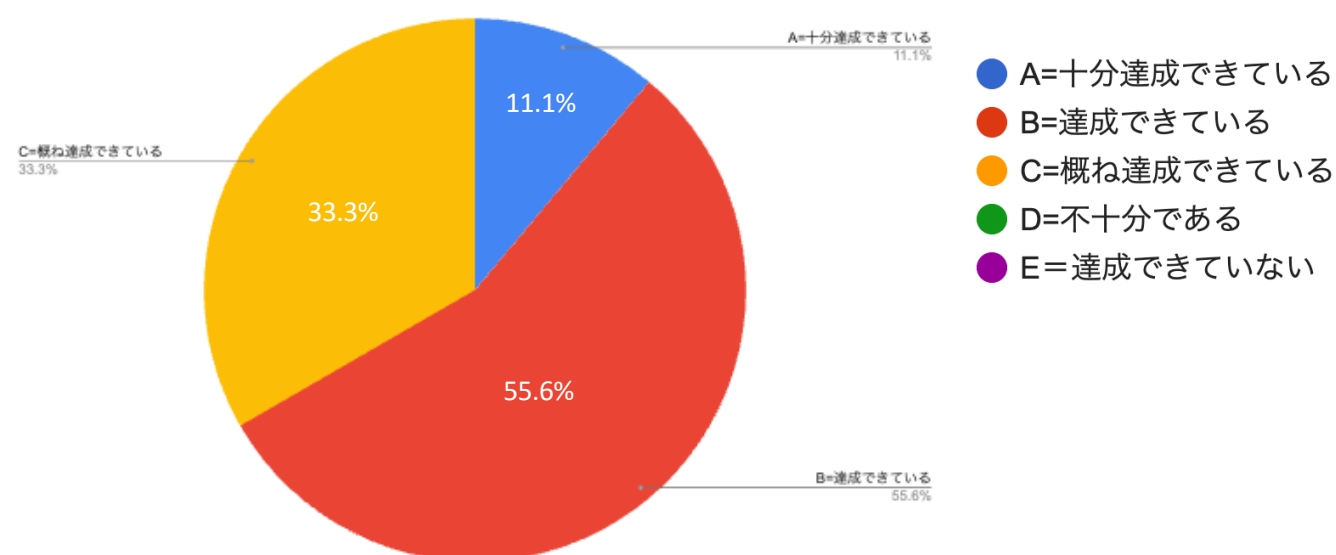
【具体的目標】

- ・ 生徒一人ひとりが各々の目標を達成できるよう、学校の運営に取り組む。
- ・ 基礎学力を定着させ、単位 修得に向けての学習の支援 を図る。

【具体的方策】

- ・ 教科の年間指導計画を作成し、教科教員間の指導の連携と充実を図る。
- ・ 「学習の手引き」の構成等を検討し、正確で分かり易い内容にする。
- ・ スクーリングや校外学習を含む年間指導計画を作成し、生徒が積極的に参加できるようにする。
- ・ レポート・スクーリングの状況を定期的に報告し、無理なく学習できる環境を整える。
- ・ テストに向けた勉強の支援を行う。
- ・ 生徒の能力・進路に応じた科目が履修できるような履修科目の設定を考える。
- ・ 支援システムの効率的な処理ができるようシステムの構築を図る。
- ・ 家庭との定期的な連絡を通して、生徒の学習状況の把握に努める。
- ・ 教科担当によるレポートの添削を充実させ、生徒の教科内容の理解を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 保護者・生徒への連絡を密にし、早目にスクーリングやレポートを仕上げるようにサポートした結果、多くの生徒が予定通りに終わる事ができた。また、単位認定試験も対策プリントを作成しながら実施することができた。今後は半期でスケジュールを立て、生徒にもアナウンスし、早期にスクーリング、レポートを実施し完了させたい。
- 年間指導計画が綿密でない部分があり、その場その場での指導という形にならざるを得なかった部分があった。それを解消するために、スクーリングとは別にレポート指導日を設け、生徒の学習をサポートするように努めた。次年度は、細かい年間行事を生徒・保護者にあらかじめ提示し、教職員はその年間行事に従った指導計画を立てて運営をすることにより、生徒・保護者・教員ともに余裕を持った、かつ分かりやすい学習環境になることが期待される。
- レポートの提出状況やスクーリングの出席状況を定期的に家庭に報告し、状況が芳しくない生徒には提出や出席を促すことができた。
- 全員が十分に理解が進むよう手助けを更に充実させていく。

【評価項目】 進路

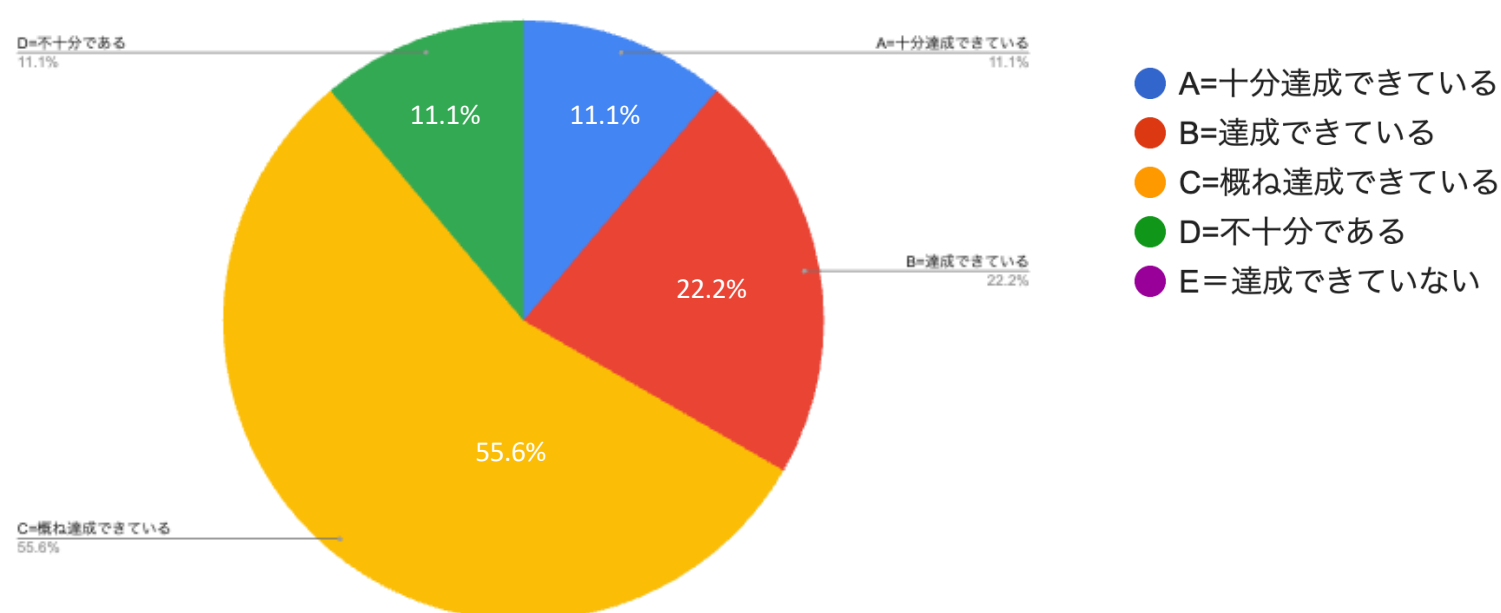
【具体的目標】

- ・ 生徒の進路実現のため、個に応じた学習計画を立て、前向きな姿勢で学習に取り組めるようにする。
- ・ 進路における情報収集を図る。

【具体的方策】

- ・ 自分の興味・関心に気付かせ、それを踏まえて進路の方向性を考えていくようにする。
- ・ 保護者との連携を深め、生徒の進路に関して三者が共有できる環境を整える。
- ・ 進路行事を提供し、自己の進路を考える機会を与える。
- ・ 学年に応じて段階的な進路指導の徹底を図る。
- ・ 個々の生徒の進路相談を充実させるため、進路関係の情報収集、提供に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 来年度は教職員一丸となって、様々なイベントにも積極的にたくさん参加させるようにしたい。
- 随時、生徒から現在の進路に関する状況を聞き取り、個々への対応を行うと同時に、必要あれば、保護者との三者面談を設けて、具体的な進路への指針をまとめることができた。次年度は、進路に対しての知識・意識を高めるための進路ガイダンスや、夏前の三者面談を行うなどして、希望的進路の実現に向けての具体的なアプローチやサポートを手厚くしていきたいと考えている。
- 年に数回の進路ガイダンスや、個別の進路相談は実施していたものの、全体として系統立てた進路指導は行われていなかったように感じる。次年度は全ての学年において、年間を通した進路指導や充実した情報提供を行う必要があると考える。
- 学校全体としては達成できていると思う。
- 適学適職検査を活用したり、総合的な探究の時間で進路について考える時間をつくったりするなど、自分の進路に対して向き合う機会を設けている。また、それらの機会を利用して進路指導を行い、生徒の希望進路につなげている。今後はさらに進路相談をしやすい環境づくり、職業観・進路観の育成方法の充実を図っていく。
- 進路について考える機会を更に充実していく。

【評価項目】 生活指導

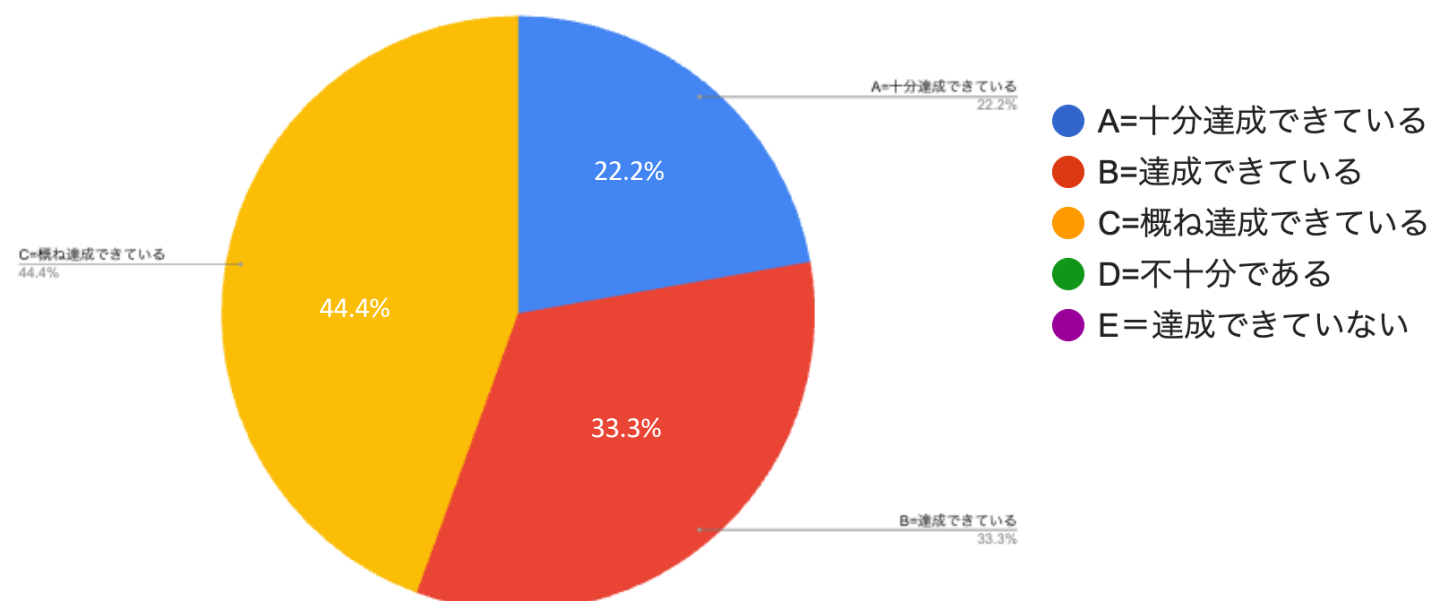
【具体的目標】

- ・ 学習する環境を整える。
- ・ 公共マナーの向上と社会的規範の遵守を図る。
- ・ 思いやりのある心の育成を図る。

【具体的方策】

- ・ 場をわきまえた行動がとれるように個々への指導を深めると同時に、自分の行動に責任が持てるような人間形成を目指す。
- ・ スクーリング、講演、面談などを通して薬物の危険性、有害情報の提供、交通ルールや喫煙マナーなどを指導していく。
- ・ 人の心の痛みが分かり、思いやりを持った行動がとれるようになる。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 生徒指導は進路指導も含めて、十分出来ていた。今後も続ける。
- 生徒指導において、特に困難をきたす事案は発生しなかった。次年度も、スクーリングや特別活動をはじめ、様々な機会において、個を大切にすること、またそのために協調性や道徳心、自分自身の行動責任が必要であることを理解する指導にあたりたいと思う。
- 生徒の規範意識や公共マナーの向上を図り、場面に応じて個々への指導を実施することができた。少ない登校日数のもと、生徒との関係作りや適切な指導を行うために、より教職員間の連携をとりながら生徒指導を行っていく必要がある。

- 講習会や校外学習で外部の施設や公共の場で活動をすることで、一般的なルールやマナーを遵守することを学ばせる機会を設けてきた。次年度以降もモラル研修や校外学習等を通じて学ばせていきたい。
- 講演活動等の充実や日々の生徒観察をしっかりと進めていく。

【評価項目】 いじめ対策

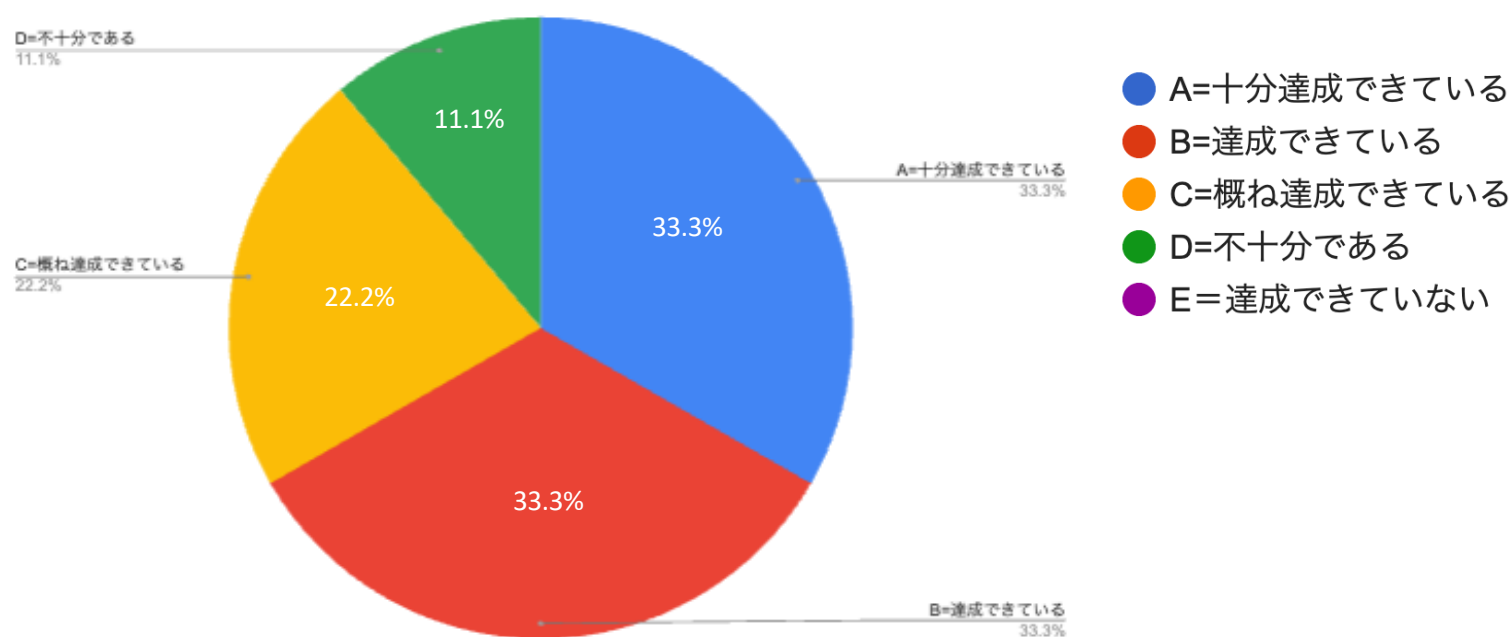
【具体的目標】

- ・ いじめ対策防止基本方針の策定を行い、学校の基本方針を明確にする。
- ・ 教職員間の情報交換を密にし、いじめを未然に防ぐ環境づくりに努める。
- ・ ネットにおける生徒の動向を把握し、情報モラルの指導を行う。
- ・ 外部機関との連携を図る体制づくり

【具体的方策】

- ・ 生徒同士が生き生きと、お互いの良さを認める雰囲気作りに努める。
- ・ 生徒との信頼関係を構築し、生徒の心に寄り添った対応をする。
- ・ 教職員の情報交換を密にし、生徒の理解に努める。
- ・ インターネット等による書き込みを含んだ「いじめ」を未然に防ぐ対応をする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 特に目立った事案がなかったが、SNSなどの件に関しては、気が付いた教員が個々に対応してきた。課題等が見つかれば随時朝礼時に共有していた。今後も続けていきたい。

- いじめに関わるような事案はなかった。次年度も、これまで通り、校舎内の良い雰囲気作りと、学校が個を認めあえる心地よいコミュニティであることを意識した運営にしていきたいと考える。
- 困り事があった際に頼ってもらえるような教員-生徒の関係づくりと、一人一人が安心して過ごすための生徒間の関係づくりの双方を意識した学習活動を行うことができている。引き続き教職員で連携を取りながら、問題の早期発見に努めたい。
- 登校してきた際には積極的に挨拶や声掛けを行い、良い雰囲気づくりをしている。また、生徒観察や教職員間の情報交換をこまめに行い、生徒の理解に努めている。SNS等の見えない部分にも気を配り、「いじめ」を未然に防ぐ対応をしていくことが今後の課題である。
- 日々の生徒観察、職員間の連絡を更に充実させる。

【評価項目】 安全健康管理

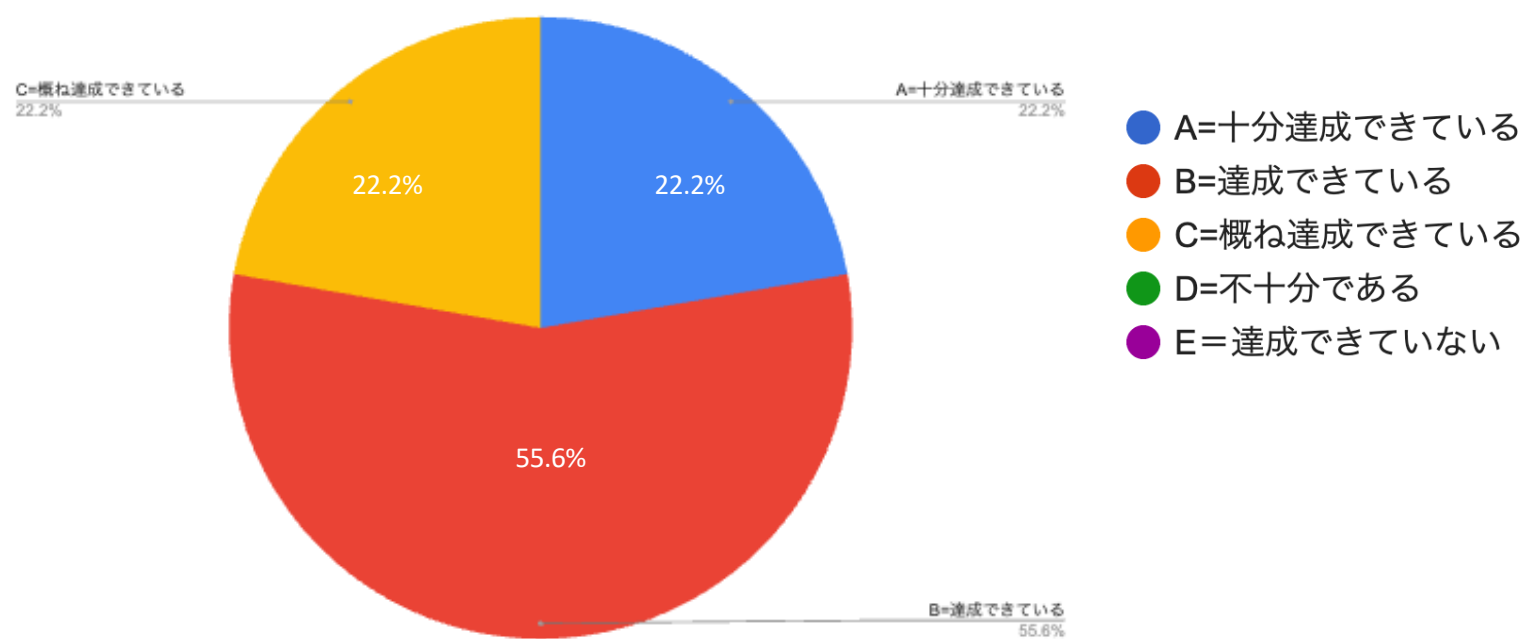
【具体的目標】

- ・ 心身の健康と自己管理能力の育成を図る。
- ・ 教育相談の有効活用を図り生徒の悩みに対応できる体制作りを行う

【具体的方策】

- ・ 生徒の健康診断を実施し、個々の健康維持・安全衛生面について配慮していくことで、生徒が良好な学校生活を送れるように努める。
- ・ 基本的生活習慣の確立を目指し、自己管理能力を高める。
- ・ 不登校傾向にある生徒に対しては、家庭訪問を行いながら家庭との連携を図り、生徒が学校生活を送れるよう信頼関係の構築に努める。
- ・ 不審者や緊急事態への対応の機能の充実を図る。
- ・ 地域の関連機関との連携を深め、生徒理解に努めることで、生徒を取り巻く環境の改善を図る。
- ・ 生徒の健全育成を図るため、社会のルールを守るよう指導する。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 安全健康管理について、特に問題はなかった。
- 衛生面や安全面に配慮した環境づくりを行った。生活リズムが乱れている生徒に対しては、家庭と連携しながら継続的な指導を行うことで、基本的な生活習慣の確立を目指したい。
- 生徒に健康診断を受けさせるなど健康維持に配慮した環境づくりを行っている。通信制という特殊な環境なため、生活習慣が崩れる生徒もいるが、日々の声掛けや指導を行うことで基本的な生活習慣の確立を図っている。
- 個々との面談の機会を更に充実させる。

【評価項目】 生徒募集

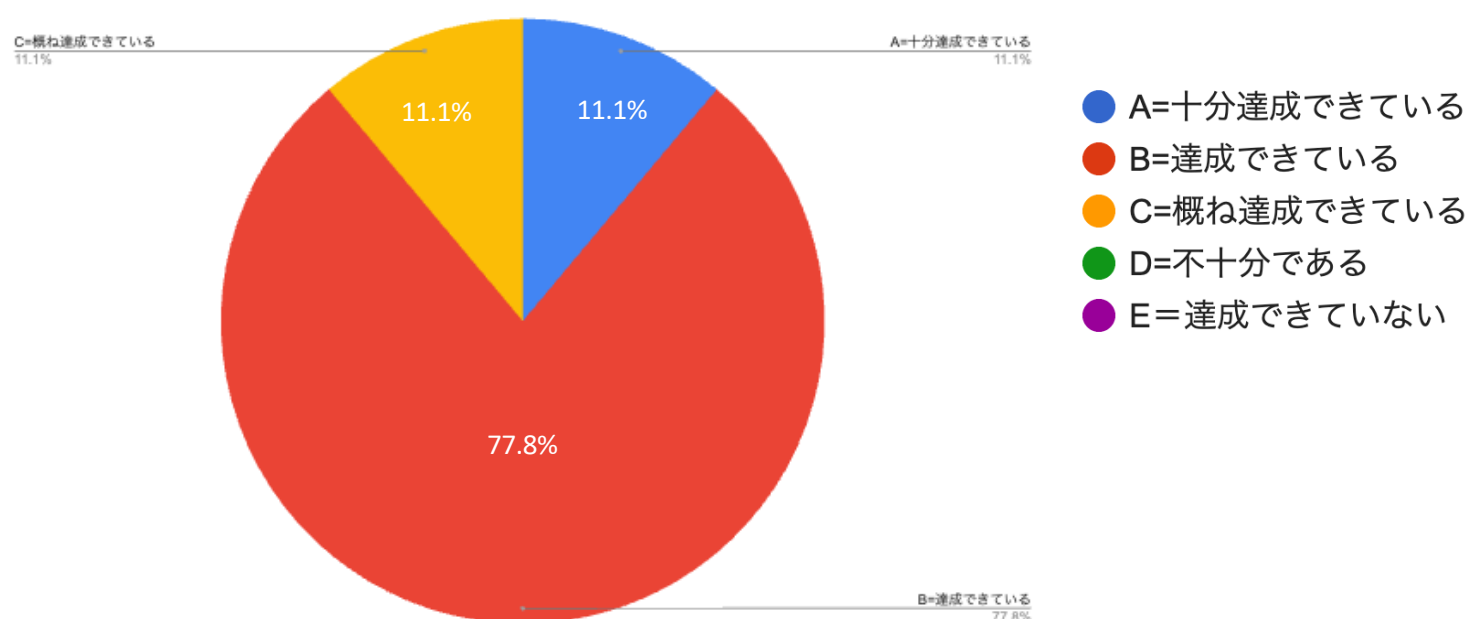
【具体的目標】

- ・ 生徒募集のための広報に努める。
- ・ 地域との連携を深めながら
- ・ 本校の教育目標を理解してもらう。

【具体的方策】

- ・ 学校案内パンフレット、ホームページの内容を工夫・充実させる。
- ・ 地域・他校との連携を深め、生徒募集の効果的な広報に工夫・努力する。また、関係する学校・機関の訪問を積極的に行い、生徒の理解に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 外部相談会への参加、中学校訪問などを積極的に行った。今後も職員の意識を高く統一し、継続していきたい。
- 学校案内パンフレットに加え、校舎独自のHP・チラシ作成、SNSの定期的投稿、学校訪問などの日々の広報活動や、外部相談会展など、様々な媒体において、生徒募集を常に意識した取り組みを行っている。次年度は、そうした「学校が楽しい」ともっと認識されるように、校舎内のイベントを充実させ、SNS投稿の頻度を上げたり、生徒が顧客と話をする機会などがあっていいのではないかと考えている。
- 主に合同説明会へのブース出展を通して、生徒募集のための広報に努めた。また、保護者からの質問や要望があれば教職員で共有し、連携しながら募集を行うことができた。
- 入学オリエンテーションや個別指導、保護者連絡を通じて、新しい環境に対する不安の軽減を目指した。また、早期に校内イベントを企画したことで、生徒同士の関係構築にも繋がった。
- 学校全体としては、達成できていると考える。
- 近年、通信制高校への注目が高まっており、本校に対する問い合わせ・資料請求も多くきている。今後も、地道な学校訪問や相談者対応の充実を図るなどの広報活動を行っていくことが課題である。
- 現在の取り組みを続けていく。

【評価項目】 教科

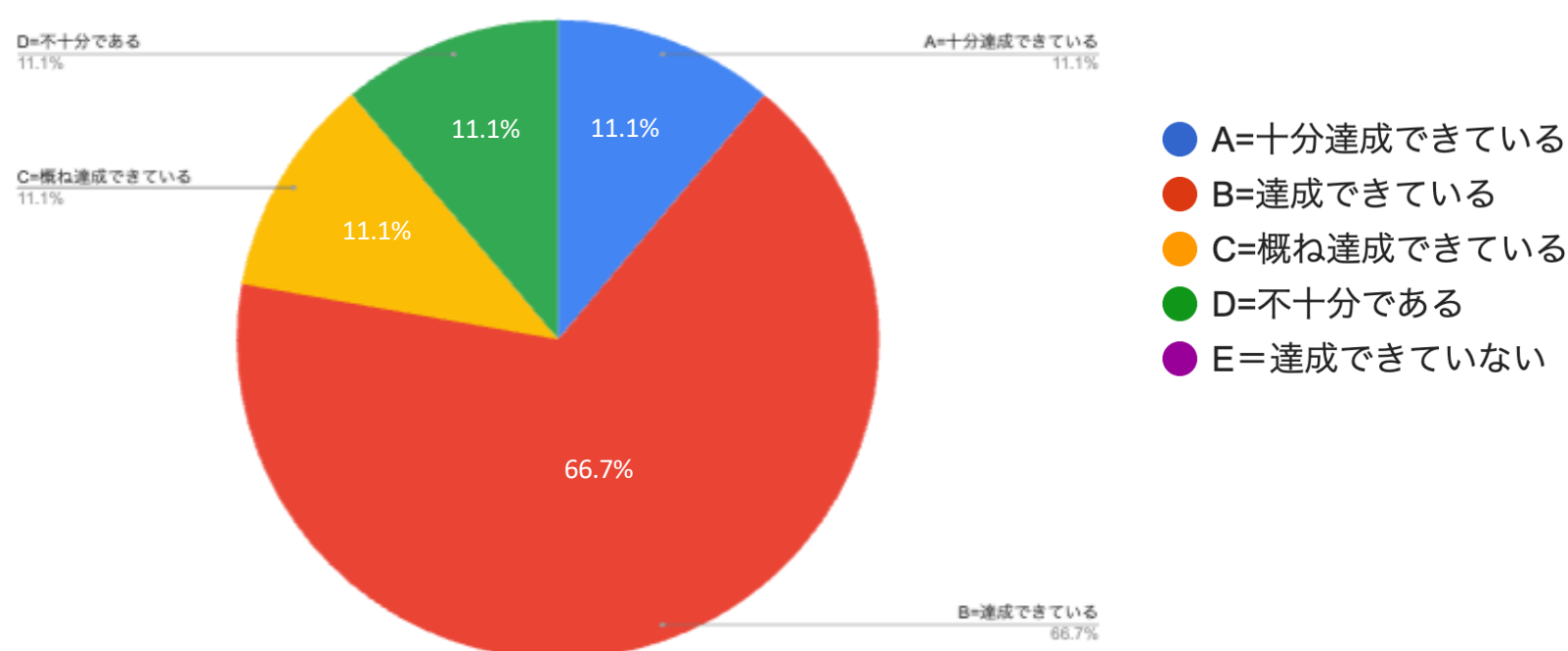
【具体的目標】

- ・ 個々の生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践
- ・ 教科の特性を生かした指導
- ・ 担当教科との連携による生徒の指導と把握

【具体的方策】

- ・ 指導内容を振り返り、次のスクーリングに生かす。
- ・ 基礎学力の定着をはかり、生徒ができることの喜びを感じさせる。
- ・ 生徒一人一人の能力・実態に合わせた教材の提供を行う。
- ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせ、計画的に学習させる。
- ・ レポート指導や添削で生徒への理解をうながす。
- ・ 生徒の個性や能力に応じた教科指導の実践を図り、進路の実現を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 規程のスクーリング数以上のスクーリングを実施し、学習の定着率をアップすることが出来た。今後はレポートのAとB区分を個々人に合わせて活用していきたい。
- スクーリングを基本とした教科指導をはじめ、レポート学習日などを設けることにより、個々の学習進度や理解に合わせた指導が行われた。次年度も、レポート学習日を定期的に設け、また進学を控えた3年生においては、いつでも登校学習できる環境を整えることに加え、学力の向上を図れるようなツールも導入し、更なる教科理解と進路実現を図りたい。
- レポートやスクーリングの進捗状況を適宜把握し、計画的な学習を促すことができた。また、個別指導を充実させることで、生徒一人一人の能力や実態に合わせた指導を実施している。今後は、生徒数増加への対応が課題である。
- レポートの添削や個別指導を充実させることで、個々の生徒に応じた教科指導を行っている。今後はさらなる新教育課程での教材内容の充実を図っていく。
- スクーリング以外でも学習のサポートを充実させていく。

【評価項目】 1年生

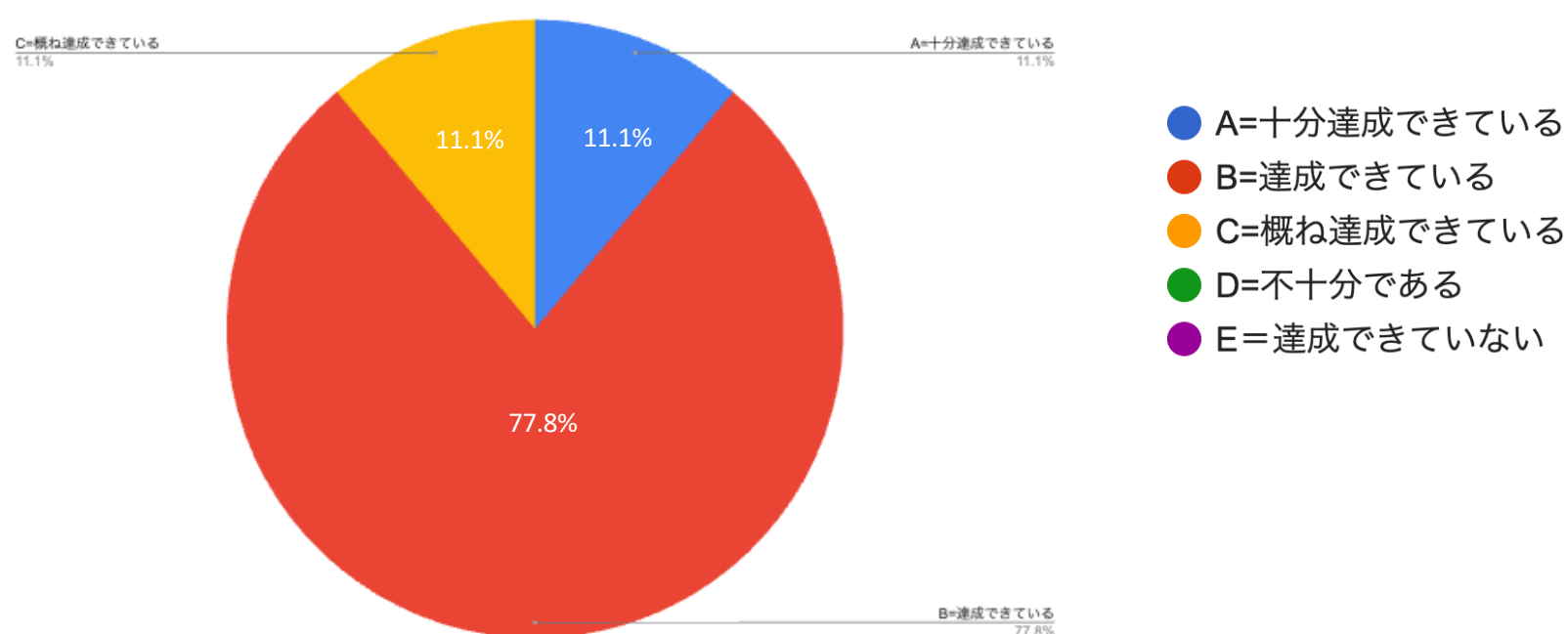
【具体的目標】

- ・ 基本的生活習慣の確立と学習活動の定着化
- ・ 学習環境作りの推進
- ・ 多様な生徒への配慮

【具体的方策】

- ・ 自己の進路目標を設定し、自分に向き合う姿勢を育成する。その中で自信を持たせるような環境作りを目指す。
- ・ 通信制のシステムの中で、個別指導をきめ細かく行う。
- ・ 場をわきまえた行動がとれるような学習の環境作りを施す。
- ・ 体験学習や学校行事への積極的な参加を促す。
- ・ 生徒の様々な状況を把握し、各生徒に適切に対処できるように心がける。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 1年生担当教員がきめ細かく対応していた。今後も継続する。
- 単位修得に関するルール (To Do) を把握し、最終的には無事に単位修得ができたと思うが、計画を立てることが難しい生徒が数人見受けられた。次年度は、あらかじめ提示する行事予定を基本として、単位認定締切日から逆算した行動の計画を立てられるよう、指導していく必要があると考えられる。

- 入学オリエンテーションや個別指導、保護者連絡を通じて、新しい環境に対する不安の軽減を目指した。また、早期に校内イベントを企画したことで、生徒同士の関係構築にも繋がった。
- 通信制高校での基本的な生活習慣の確立や学習の仕方を指導・育成していくことができています。
- 不安を取り除けられるように意識的に声掛けする機会を増やしていく。

【評価項目】 2年生

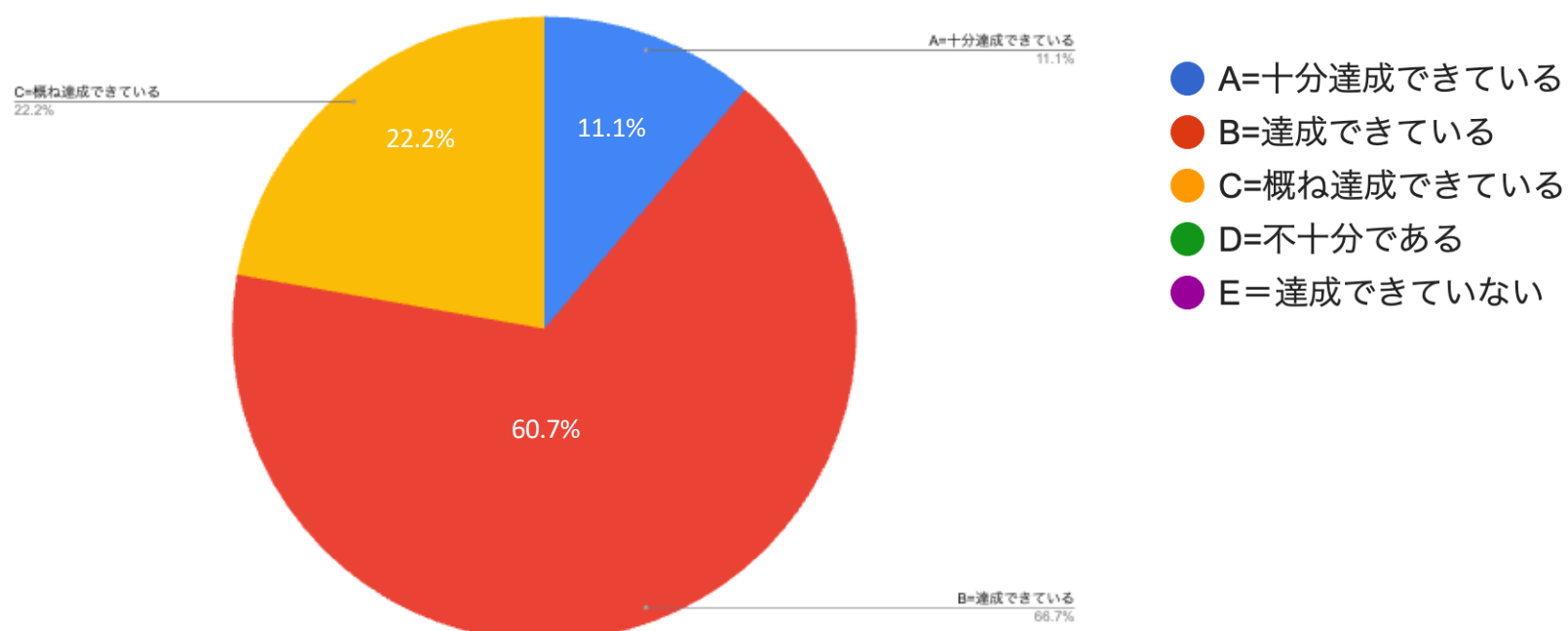
【具体的目標】

- ・ 学習の習慣化の定着による学力の向上
- ・ 進路意識の向上を目指す。
- ・ 学校行事への積極的参加

【具体的方策】

- ・ 個別指導を通して生徒の自覚を促し、スクーリング・出席率・レポートの提出率の向上を目指し、学力の向上を図る。
- ・ 悩みを抱えている生徒の情報把握・生徒理解に努め、適切な対応に心がける。
- ・ 進路の情報収集に努め、進路目標を持たせる。
- ・ 学校行事への参加を呼びかけ、友人との交流を図る。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 2年生担当教員がきめ細かい対応を行っていた。今後も継続する。

- 明るく、積極的で知的好奇心の高い生徒が多く、校舎の中心的な役割を担ってくれた。帰属意識やボランティア精神を持ち合わせ、様々な活動に取り組み、次年度も3年生として、希望的進路の実現をはじめ、1・2年生にも活気を与えるように取り組んでもらえることを期待している。
- 日々のコミュニケーションを通して生徒理解を深め、個々に応じた声掛けや指導を行うことができている。次年度は進路について考える機会を増やし、目的意識を持って日々の学習に取り組める環境づくりを目指したい。
- 充実した学校生活を送れるような環境づくりに取り組んできた。近年、早い時期から自身の進路に興味を持つ生徒が多いため、オープンキャンパスへの参加を促すなどの進路指導も行っている。今後の課題としては、気の緩む時期でもあるのでそこに注意し生活指導・学習指導を行っていくことがあげられる。
- 生徒個人が自分の状況を把握できるような機会を更に充実させる。

【評価項目】 3年生

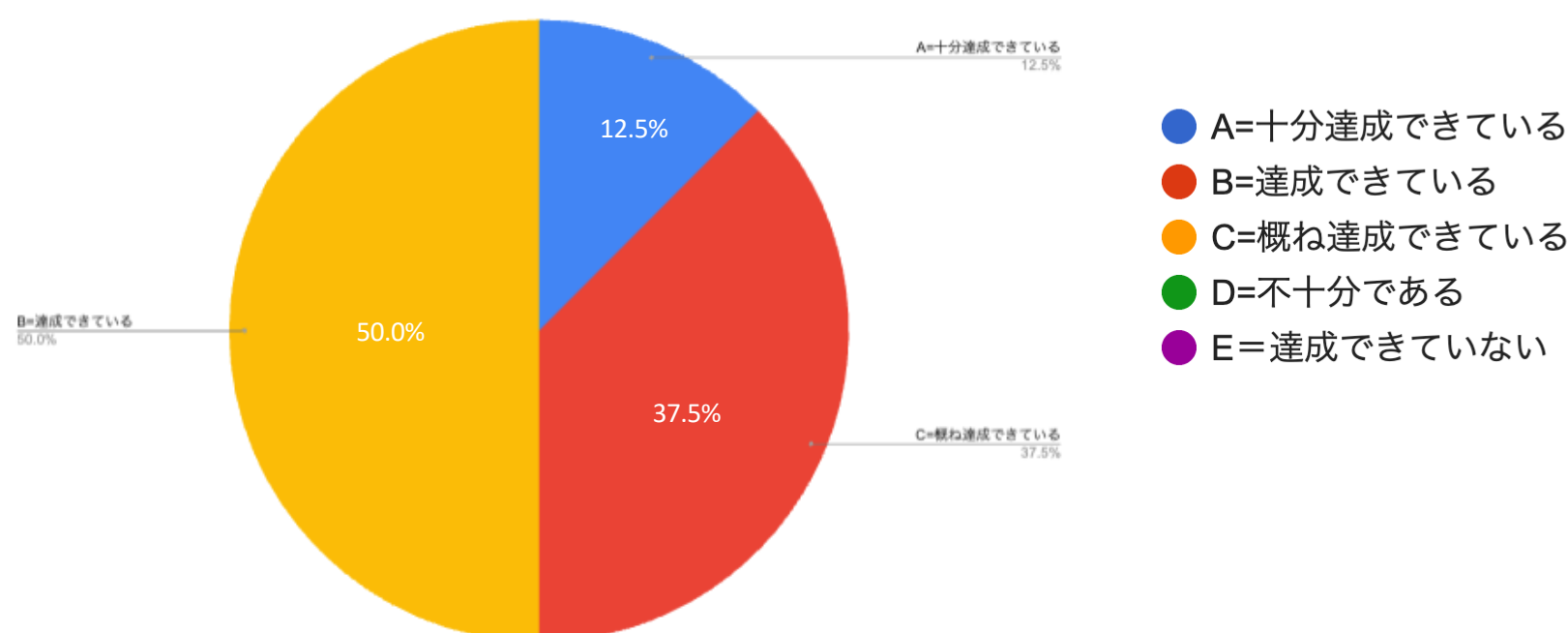
【具体的目標】

- ・ 単位取得の徹底と卒業への意識づけ
- ・ 進路希望の実現
- ・ スクーリングや校外学習への積極的な参加による学校生活における充実感の向上
- ・ 学習意欲の持続・学力の向上
- ・ 進路指導の充実

【具体的方策】

- ・ スクーリングや面談を通じて学習指導の徹底を図り、単位取得を促し、卒業への意欲を高める。そのためにも、生徒や家庭との連絡を密にとり、三者の思いを共有する。
- ・ 将来に向けての動機付けを行い、進路に対する意識を向上させる。
- ・ 経験から学ぶ体験学習をはじめとした学校行事への参加を呼びかけ、地域と学校との一体感を味わわせる環境づくりに努める。
- ・ 個別面談あるいは個人学習状況表の確認などで、生徒のレポート提出やスクーリングの参加状況を把握し、生徒の卒業を確実に行う。
- ・ 常勤・非常勤教員と連携し、生徒一人ひとりに応じた適切な学習・進路指導に努める。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 全ての生徒に対して適切な進路指導が行き届かないケースがあった。今後改善するように注視していきたい。
- レポートやスクーリング、単位認定試験において、期日をしっかり守り、前もって計画を立てて学習することができた。また進路についても、自分自身の希望を明確に記すことができ、その実現のために自分自身が何ができるのか、何を克服すべきかを考え、覚悟をもって決断・行動していた。
- 生徒一人一人の進路実現を目指し、適宜個別相談や個別指導を行うことが出来た。次年度は入試を控える生徒が多いため、より計画的な進路指導が課題である。
- 最終学年としての学習指導や、進路が未定の生徒にはオープンキャンパスへの参加や進路冊子の閲覧を促すなどの進路指導を行っている。今後の課題としては、卒業し社会人になることを意識させ、生活指導・学習指導を行っていくことがあげられる。
- 進路実現に向けての指導・相談を更に充実させる。

【評価項目】 事務関係

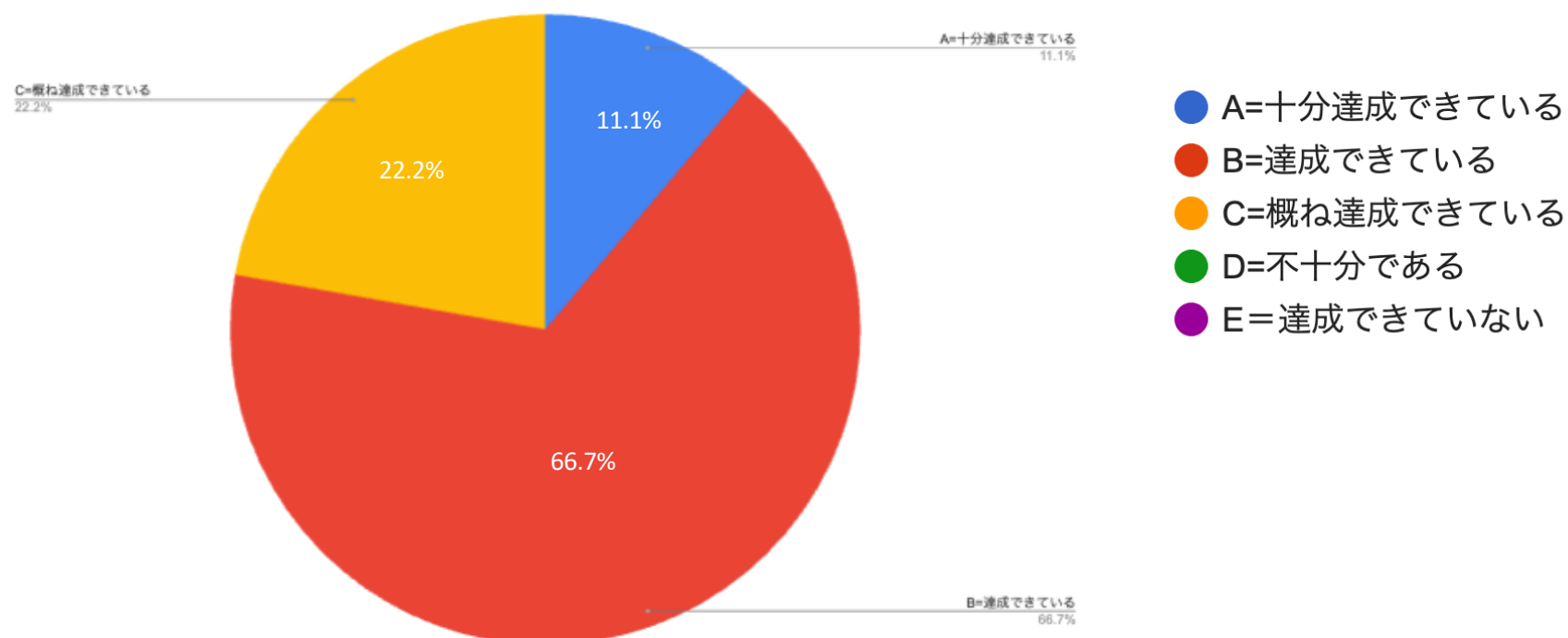
【具体的目標】

- ・ 生徒、保護者からの依頼文書等の対応を適切に行う。
- ・ 関係機関との信頼関係の構築を図る。
- ・ 学校業務が円滑に図れるよう心を配るようにする。

【具体的方策】

- ・学割や定期、願い届出等に対しての処理を適切に行っていく。
- ・関係機関との信頼関係を築きながら、必要となる文書の作成や生徒・保護者への配布などを適切に行うようにする。
- ・学校業務を行う上での環境の整備に心がける。また、学校への問い合わせ等の外部との対応も的確に行うようにする。

A~Eで評価をしてください。



- 学校全体の評価と次年度への課題を記述してください

- 松陰高校本校だけではなく、全国の松陰高校の学習センターが信頼される取組みを常に考えていきたい。
- 学校全体の事務としては特に問題となる事象はなかった。
- 基本的にスムーズな対応を行うことができている。課題として、学習センターによっては、書類のやり取りや取り扱いについての共通理解が行き届いていない場合があることが挙げられる。本校職員を中心に、各学習センターへの指導を強化していく必要があると考える。
- 迅速かつ丁寧な対応心掛けていく。
- 学割・証明書交付において、各学習センターでの対応ができておらず、本校に直接問い合わせが来るが多かったが、本校で丁寧な対応をすることで事務処理を行ってきた。生徒数も増加しており、各部署の担当者がきちんと流れを把握し、迅速な対応が今後は求められるので、そこが課題である。
- 円滑に処理ができるように、デジタル化の推進をしきたい。